

# ダイワ米国 バイバック・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版)

### 第12期

(決算日 2020年3月18日)

(作成対象期間 2019年9月19日～2020年3月18日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5624>  
<5625>

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	10年間（2014年3月19日～2024年3月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

為替ヘッジあり

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2018年3月19日)	11,191	200	8.2	14,699	9.9	94.8	1.1	1,129
9期末(2018年9月18日)	11,377	50	2.1	15,430	5.0	100.0	—	1,057
10期末(2019年3月18日)	10,715	0	△ 5.8	15,075	△ 2.3	98.0	—	856
11期末(2019年9月18日)	10,985	0	2.5	16,054	6.5	98.4	—	797
12期末(2020年3月18日)	8,756	0	△ 20.3	13,509	△ 15.9	94.3	—	531

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

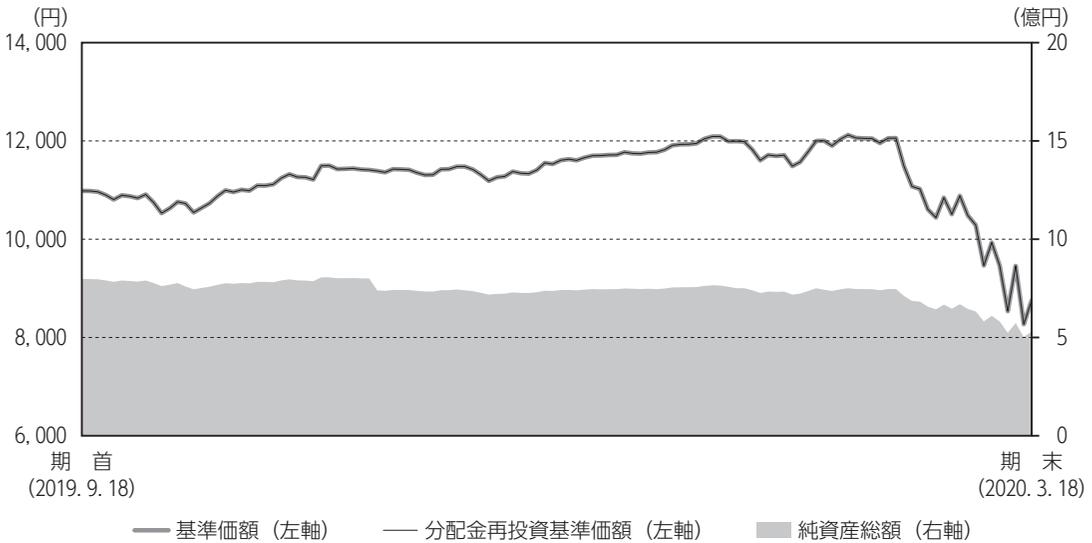
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,985円

期末：8,756円（分配金0円）

騰落率：△20.3%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し米国株式が下落したことをマイナス要因として、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2019年 9月18日	10,985	—	16,054	—	98.4	—
9月末	10,835	△ 1.4	15,819	△ 1.5	98.4	—
10月末	11,259	2.5	16,273	1.4	99.0	—
11月末	11,478	4.5	16,844	4.9	98.3	—
12月末	11,746	6.9	17,305	7.8	97.6	—
2020年 1月末	11,710	6.6	17,539	9.2	97.7	—
2月末	10,606	△ 3.5	15,910	△ 0.9	96.6	—
(期末)2020年 3月18日	8,756	△ 20.3	13,509	△ 15.9	94.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から、米中通商協議の動向に一喜一憂しながら横ばい圏での推移が続きました。その後は、堅調な米国企業の企業業績に加え、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退や、米中通商協議での第1段階合意への署名など外部環境の改善も追い風となり、2020年1月まで上昇基調が続きました。しかし2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し、大きく下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、世界景気減速への懸念はあるものの、個人消費を中心に堅調な米国内経済や、主要国の緩和的な金融政策や景気刺激策が支援材料になるとみています。また相場の調整局面では、企業行動として投資よりも自社株買いや増配などの株主還元策が選択されやすいとみています。潤沢なキャッシュを背景にした株主還元策の積極化が株価の下支えになるとみています。

## ポートフォリオについて

（2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18）

### 当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ダイワ米国バイバック・マザーファンド

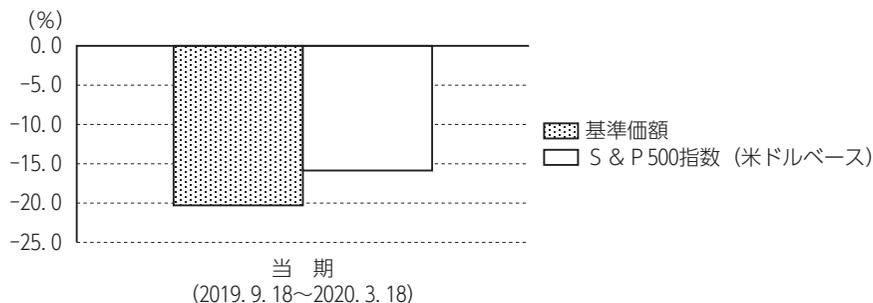
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。各企業の自社株買いの水準や動向を勘案しつつ、一般消費財・サービスセクターの一部を売却し、金融セクターを組み入れるなどの比率調整を行いました。そのほかでは、米中通商協議の進展による事業環境の改善を期待し情報技術セクターも高位組み入れとしました。個別では、株価バリュエーションなどを総合的に勘案してAPPLE INC（情報技術）やJPMORGAN CHASE & CO（金融）などを引き続き上位組み入れとしました。加えて、新型コロナウイルスによる影響が不透明であることを考慮し、中国への依存度が高い企業の売却や航空会社およびレジャー企業の売却なども行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（米ドルベース））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月19日 ～2020年3月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,490

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 19～2020. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	101円	0. 901%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 259円です。
(投 信 会 社)	(49)	(0. 437)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	18	0. 158	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(18)	(0. 158)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 002	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 002)	
そ の 他 費 用	2	0. 016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	121	1. 077	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

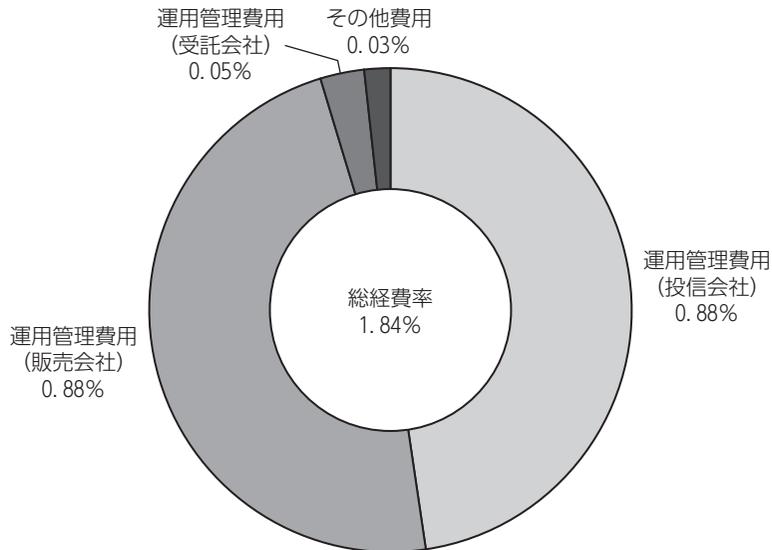
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年9月19日から2020年3月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,468	3,000	98,680	147,000

（注）単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2019年9月19日から2020年3月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	8,618,763千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	3,751,746千円
（c）売買高比率（a）／（b）	2.29

（注1）（b）は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	550,371	454,159	522,147

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	522,147	95.6
コール・ローン等、その他	24,294	4.4
投資信託財産総額	546,442	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.39円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,735,661千円）の投資信託財産総額（2,761,095千円）に対する比率は、99.1%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,057,647,630円</b>
コール・ローン等	1,809,254
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	522,147,712
未収入金	533,690,664
<b>(B) 負債</b>	<b>526,618,832</b>
未払金	519,905,116
未払解約金	20,402
未払信託報酬	6,673,157
その他未払費用	20,157
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>531,028,798</b>
元本	606,473,928
次期繰越損益金	△ 75,445,130
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>606,473,928口</b>
<b>1万口当り基準価額（C／D）</b>	<b>8,756円</b>

\* 期首における元本額は725,891,942円、当作成期間中における追加設定元本額は625,881円、同解約元本額は120,043,895円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,756円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は75,445,130円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月19日 至 2020年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 578円
受取利息	50
支払利息	△ 628
(B) 有価証券売買損益	△ 128,532,956
売買益	37,097,637
売買損	△ 165,630,593
(C) 信託報酬等	△ 6,693,315
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 135,226,849
(E) 前期繰越損益金	59,171,922
(F) 追加信託差損益金	609,797
(配当等相当額)	( 3,391,515)
(売買損益相当額)	(△ 2,781,718)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 75,445,130
次期繰越損益金 (G)	△ 75,445,130
追加信託差損益金	609,797
(配当等相当額)	( 3,391,515)
(売買損益相当額)	(△ 2,781,718)
分配準備積立金	87,000,286
繰越損益金	△ 163,055,213

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	3,391,515
(d) 分配準備積立金	87,000,286
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	90,391,801
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	90,391,801
(h) 受益権総口数	606,473,928口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2018年3月19日)	11,094	100	3.9	15,351	4.5	97.1	1.1	4,991
9期末(2018年9月18日)	11,883	200	8.9	17,012	10.8	99.3	—	4,500
10期末(2019年3月18日)	11,300	0	△ 4.9	16,584	△ 2.5	99.2	—	3,591
11期末(2019年9月18日)	11,369	0	0.6	17,127	3.3	99.0	—	3,202
12期末(2020年3月18日)	9,010	0	△ 20.7	14,303	△ 16.5	95.2	—	2,238

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

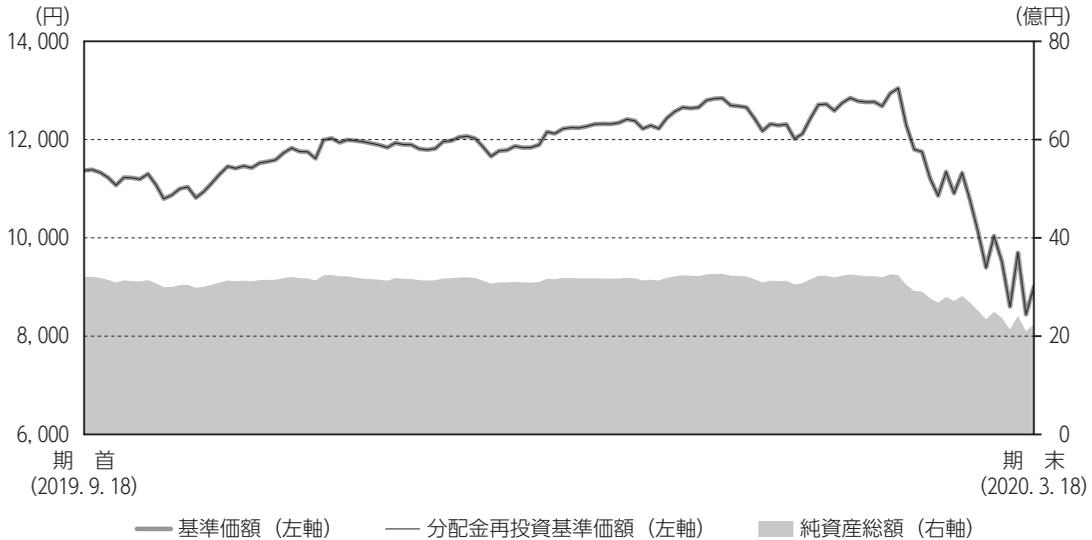
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,369円

期末：9,010円（分配金0円）

騰落率：△20.7%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し米国株式が下落したことや、米ドル円為替相場下落をマイナス要因として、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2019年 9月18日	11,369	—	17,127	—	99.0	—
9月末	11,193	△ 1.5	16,832	△ 1.7	98.9	—
10月末	11,752	3.4	17,469	2.0	98.6	—
11月末	12,069	6.2	18,194	6.2	97.3	—
12月末	12,382	8.9	18,693	9.1	97.6	—
2020年 1月末	12,311	8.3	18,858	10.1	97.8	—
2月末	11,212	△ 1.4	17,165	0.2	96.5	—
(期末)2020年 3月18日	9,010	△ 20.7	14,303	△ 16.5	95.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から、米中通商協議の動向に一喜一憂しながら横ばい圏での推移が続きしました。その後は、堅調な米国企業の企業業績に加え、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退や、米中通商協議での第1段階合意への署名など外部環境の改善も追い風となり、2020年1月まで上昇基調が続きました。しかし2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し、大きく下落しました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から、堅強な米国経済や米中関係の改善期待を背景に、緩やかな円安米ドル高基調が続きました。2020年2月には、新型コロナウイルスの日本での感染拡大を受け、一時円安米ドル高が進む局面もありましたが、その後は米国にも感染が広がったことから、円高米ドル安に転じました。値動きの激しい展開が続く中、当作成期首よりやや円高米ドル安の水準で当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

### ■ ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、世界景気減速への懸念はあるものの、個人消費を中心に堅調な米国内経済や、主要国の緩和的な金融政策や景気刺激策が支援材料になるとみています。また相場の調整局面では、企業行動として投資よりも自社株買いや増配などの株主還元策が選択されやすいとみています。潤沢なキャッシュを背景にした、株主還元策の積極化が株価の下支えになるとみています。

## ポートフォリオについて

（2019. 9. 19 ~ 2020. 3. 18）

### 当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

### ダイワ米国バイバック・マザーファンド

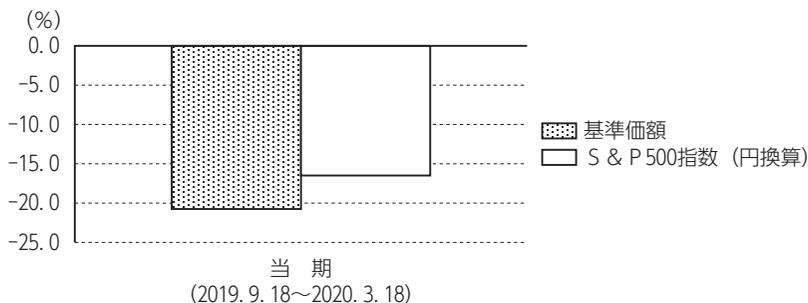
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。各企業の自社株買いの水準や動向を勘案しつつ、一般消費財・サービスセクターの一部を売却し、金融セクターを組み入れるなどの比率調整を行いました。そのほかでは、米中通商協議の進展による事業環境の改善を期待し情報技術セクターも高位組み入れとしました。個別では、株価バリュエーションなどを総合的に勘案してAPPLE INC（情報技術）やJPMORGAN CHASE & CO（金融）などを引き続き上位組み入れとしました。加えて、新型コロナウイルスによる影響が不透明であることを考慮し、中国への依存度が高い企業の売却や航空会社およびレジャー企業の売却なども行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（円換算））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月19日 ～2020年3月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,029

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

### ■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 19～2020. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	106円	0.901%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は11,770円です。</b>
(投 信 会 社)	(51)	(0.437)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(51)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	19	0.158	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(19)	(0.158)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.003)	
そ の 他 費 用	2	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	127	1.078	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

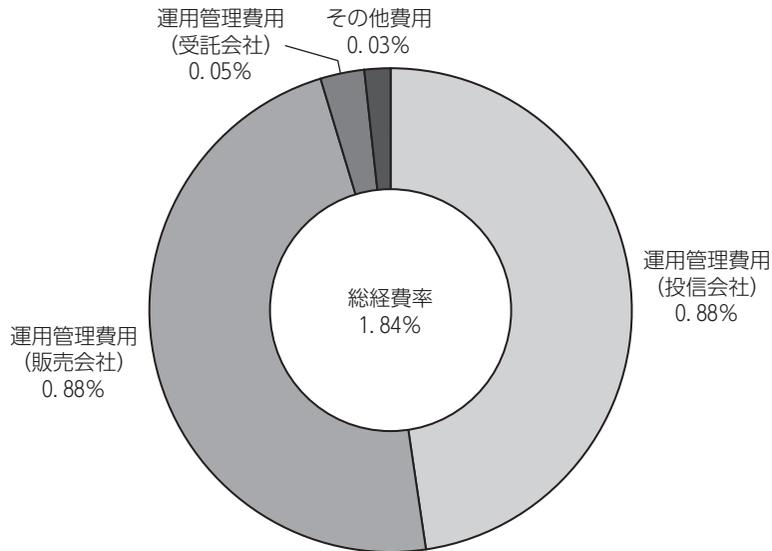
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年9月19日から2020年3月18日まで）

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	35,068	51,000	325,919	490,500

（注）単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2019年9月19日から2020年3月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	8,618,763千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,751,746千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.29

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,224,265	1,933,414	2,222,846	

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,222,846	98.1
コール・ローン等、その他	43,938	1.9
投資信託財産総額	2,266,785	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.39円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,735,661千円）の投資信託財産総額（2,761,095千円）に対する比率は、99.1%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,266,785,818円
コール・ローン等	27,938,946
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	2,222,846,872
未収入金	16,000,000
(B) 負債	27,945,188
未払信託報酬	27,860,749
その他未払費用	84,439
(C) 純資産総額（A－B）	2,238,840,630
元本	2,484,955,927
次期繰越損益金	△ 246,115,297
(D) 受益権総口数	2,484,955,927口
1万口当り基準価額（C/D）	9,010円

\* 期首における元本額は2,816,739,762円、当作成期間中における追加設定元本額は53,187,396円、同解約元本額は384,971,231円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,010円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は246,115,297円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月19日 至 2020年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,479円
受取利息	96
支払利息	△ 2,575
(B) 有価証券売買損益	△ 559,456,483
売買益	29,831,294
売買損	△ 589,287,777
(C) 信託報酬等	△ 27,945,191
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 587,404,153
(E) 前期繰越損益金	291,157,285
(F) 追加信託差損益金	50,131,571
(配当等相当額)	( 86,986,715)
(売買損益相当額)	(△ 36,855,144)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 246,115,297
次期繰越損益金 (G)	△ 246,115,297
追加信託差損益金	50,131,571
(配当等相当額)	( 86,986,715)
(売買損益相当額)	(△ 36,855,144)
分配準備積立金	417,307,486
繰越損益金	△ 713,554,354

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	86,986,715
(d) 分配準備積立金	417,307,486
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	504,294,201
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	504,294,201
(h) 受益権総口数	2,484,955,927口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

# ダイワ米国バイバック・マザーファンド

## 運用報告書 第12期 (決算日 2020年3月18日)

(作成対象期間 2019年9月19日～2020年3月18日)

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

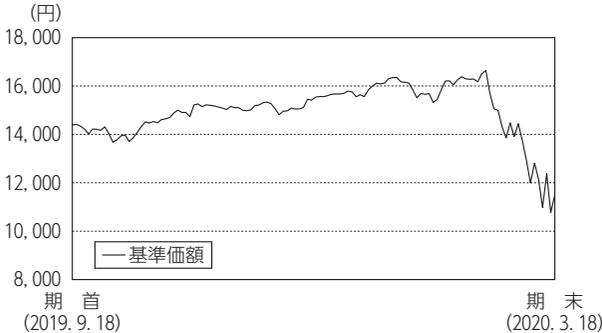
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,390円 期末：11,497円 騰落率：△20.1%

【基準価額の主な変動要因】

主に米国の株式に投資した結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し米国株式が下落したことや、米ドル円為替相場下落をマイナス要因として、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から、米中通商協議の動向に一喜一憂しながら横ばい圏での推移が続きました。その後は、堅調な米国企業の企業業績に加え、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退や、米中通商協議での第1段階合意への署名など外部環境の改善も追い風となり、2020年1月まで上昇基調が続きました。しかし2月半ばから当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を危惧し、大きく下落しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から、堅強な米国経済や米中関係の改善期待を背景に、緩やかな円安米ドル高基調が続きました。2020年2月には、新型コロナウイルスの日本での感染拡大を受け、一時円安米ドル高が進む局面もありましたが、その後は米国にも感染が広がったことから、円高米ドル安に転じました。値動きの激しい展開が続く中、当作成期首よりやや円高米ドル安の水準で当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことにより魅力的なバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）を選定していく方針です。米国株式市場においては、世界景気減速への懸念はあるものの、個人消費を中心に堅調な米国内経済や、主要国の緩和的な金融政策や景気刺激策が支援材料になるとみています。また相場の調整局面では、企業行動として投資よりも自社株買いや増配などの株主還元策が選択されやすいとみています。潤沢なキャッシュを背景にした株主還元策の積極化が株価の下支えになるとみています。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。各企業の自社株買いの水準や動向を勘案しつつ、一般消費財・サービスセクターの一部を売却し、金融セクターを組み入れたなどの比率調整を行いました。そのほかでは、米中通商協議の進展による事業環境の改善を期待し情報技術セクターも高位組み入れとしました。個別では、株価バリュエーションなどを総合的に勘案してAPPLE INC（情報技術）やJPMORGAN CHASE & CO（金融）などを引き続き上位組み入れとしました。加えて、新型コロナウイルスによる影響が不透明であることを考慮し、中国への依存度が高い企業の売却および航空会社やレジャー企業の売却なども行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

年 月 日	基準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年 9月18日	14,390	—	17,127	—	99.0	—
9月末	14,176	△ 1.5	16,832	△ 1.7	99.0	—
10月末	14,906	3.6	17,469	2.0	98.6	—
11月末	15,332	6.5	18,194	6.2	97.3	—
12月末	15,754	9.5	18,693	9.1	97.5	—
2020年 1月末	15,688	9.0	18,858	10.1	97.8	—
2月末	14,307	△ 0.6	17,165	0.2	96.5	—
(期末) 2020年 3月18日	11,497	△20.1	14,303	△16.5	95.9	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《今後の運用方針》

自社株買の実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	24円 ( 24)
有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 ( 2) ( 0)
合 計	26

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2019年9月19日から2020年3月18日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	5,708 ( )	36,656 (△ 5)	6,896.5	42,371

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2019年9月19日から2020年3月18日まで)

買 付 銘柄	当 期			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価
BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	千株 79.6	千円 283,425	円 3,560	ABBVIE INC (アメリカ)	千株 28	千円 264,541	円 9,447
ABBVIE INC (アメリカ)	24.4	200,351	8,211	APPLE INC (アメリカ)	7.4	218,857	29,575
ORACLE CORP (アメリカ)	26	158,987	6,114	AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	16	213,990	13,374
JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	10.4	152,791	14,691	QUALCOMM INC (アメリカ)	14.9	145,496	9,764
WELLS FARGO & CO (アメリカ)	28.9	151,989	5,259	BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.7	142,666	203,808
US CONCRETE INC (アメリカ)	25.2	142,611	5,659	BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	39.3	129,420	3,293
ELI LILLY & CO (アメリカ)	8.9	140,534	15,790	CITIGROUP INC (アメリカ)	14.7	116,860	7,949
QUALCOMM INC (アメリカ)	13.9	133,102	9,575	OWENS CORNING (アメリカ)	18.8	114,152	6,071
AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	9.4	120,409	12,809	LGI HOMES INC (アメリカ)	11.8	111,532	9,451
CITIGROUP INC (アメリカ)	15.3	114,434	7,479	US CONCRETE INC (アメリカ)	25.2	106,996	4,245

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
外国株式

銘柄	期首	当	期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
PALO ALTO NETWORKS INC	20	—	—	—	情報技術
SYNCHRONY FINANCIAL	143	—	—	—	金融
ABBOTT LABORATORIES	41	64	508	54,633	ヘルスケア
LAS VEGAS SANDS CORP	43	—	—	—	一般消費財・サービス
ADOBE INC	25	—	—	—	情報技術
DEVON ENERGY CORP	—	215	138	14,915	エネルギー
CITIGROUP INC	127	133	535	57,488	金融
DOMINO'S PIZZA INC	9	—	—	—	一般消費財・サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	—	55	422	45,355	金融
HUNTSMAN CORP	—	81	121	13,091	素材
APPLE INC	95	49	1,239	133,057	情報技術
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	—	196	587	63,082	金融
JPMORGAN CHASE & CO	84	143	1,340	143,985	金融
DOLLAR GENERAL CORP	19	29	448	48,125	一般消費財・サービス
CORNING INC	233	—	—	—	情報技術
CISCO SYSTEMS INC	350	254	901	96,833	情報技術
SERVICE CORP INTERNATIONAL	38	—	—	—	一般消費財・サービス
BROADCOM INC	14	—	—	—	情報技術
QUANTA SERVICES INC	80	—	—	—	資本財・サービス
AMERICAN EAGLE OUTFITTERS	608	—	—	—	一般消費財・サービス
FEDERATED HERMES INC	115	95	173	18,588	金融
ALLISON TRANSMISSION HOLDING	—	32	102	11,031	資本財・サービス
AMETEK INC	44	—	—	—	資本財・サービス
RELIANCE STEEL & ALUMINUM	—	15	125	13,442	素材
PGT INNOVATIONS INC	478	227	204	21,915	資本財・サービス
HCA HEALTHCARE INC	42	—	—	—	ヘルスケア
CABOT OIL & GAS CORP	—	123	234	25,215	エネルギー
AMAZON.COM INC	4.8	2.3	415	44,653	一般消費財・サービス
DINE BRANDS GLOBAL INC	120	—	—	—	一般消費財・サービス
EURONET WORLDWIDE INC	26	—	—	—	情報技術
FISERV INC	—	57	518	55,635	情報技術
GENERAL MOTORS CO	72	—	—	—	一般消費財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	18	15	238	25,559	金融
OWENS CORNING	129	—	—	—	資本財・サービス
FIFTH THIRD BANCORP	103	—	—	—	金融
AMERICAN AIRLINES GROUP INC	186	—	—	—	資本財・サービス
HP INC	—	163	234	25,206	情報技術
INTL BUSINESS MACHINES CORP	—	26	277	29,778	情報技術
ICF INTERNATIONAL INC	—	93	518	55,639	資本財・サービス
ABBVIE INC	103	67	489	52,538	ヘルスケア
LGI HOMES INC	76	38	164	17,637	一般消費財・サービス
ELI LILLY & CO	—	89	1,274	136,866	ヘルスケア
METLIFE INC	46	—	—	—	金融
DUPONT DE NEMOURS INC	—	35	126	13,534	素材
MASCO CORP	—	29	105	11,332	資本財・サービス
M & T BANK CORP	—	31	340	36,540	金融
NORFOLK SOUTHERN CORP	88	47	656	70,455	資本財・サービス
ALLY FINANCIAL INC	113	53	85	9,146	金融
MCKESSON CORP	—	21	292	31,453	ヘルスケア
EVERGY INC	—	33	189	20,398	公益事業

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	百株	株数	百株	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	—	—	9	9	294	31,657	一般消費財・サービス
ALTICE USA INC- A	329	—	143	—	250	26,874	コミュニケーション・サービス
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	30	—	—	—	—	—	ヘルスケア
CONOCOPHILLIPS	59	—	—	—	—	—	エネルギー
QUALCOMM INC	104	—	94	—	647	69,511	情報技術
BOOKING HOLDINGS INC	6	—	—	—	—	—	一般消費財・サービス
REGIONS FINANCIAL CORP	266	—	—	—	—	—	金融
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	21	—	19	—	746	80,192	コミュニケーション・サービス
TEREX CORP	83	—	—	—	—	—	資本財・サービス
TRAVELERS COS INC/THE	25	—	—	—	—	—	金融
SCHLUMBERGER LTD	100	—	—	—	—	—	エネルギー
UNION PACIFIC CORP	—	—	40	—	514	55,254	資本財・サービス
MARATHON PETROLEUM CORP	100	—	109	—	221	23,762	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	62	—	—	—	—	—	エネルギー
WELLS FARGO & CO	—	—	289	—	856	91,958	金融
TJX COMPANIES INC	142	—	47	—	199	21,456	一般消費財・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	—	—	63	—	312	33,557	生活必需品
NVIDIA CORP	23	—	14	—	304	32,665	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	12	—	—	—	—	—	ヘルスケア
ORACLE CORP	—	—	241	—	1,129	121,278	情報技術
MASTERCARD INC - A	21	—	—	—	—	—	情報技術
YUM! BRANDS INC	45	—	—	—	—	—	一般消費財・サービス
BANK OF AMERICA CORP	174	—	577	—	1,268	136,196	金融
AMERICAN EXPRESS CO	66	—	—	—	—	—	金融
AMGEN INC	48	—	46	—	955	102,651	ヘルスケア
APPLIED MATERIALS INC	—	—	71	—	318	34,204	情報技術
CME GROUP INC	—	—	29	—	481	51,703	金融
ECOLAB INC	—	—	15	—	254	27,303	素材
SCHWAB (CHARLES) CORP	—	—	141	—	474	50,998	金融
INTEL CORP	80	—	—	—	—	—	情報技術
ILLUMINA INC	5	—	—	—	—	—	ヘルスケア
COMERICA INC	35	—	—	—	—	—	金融
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	—	—	13	—	104	11,250	資本財・サービス
CINTAS CORP	—	—	11	—	230	24,703	資本財・サービス
MICROSOFT CORP	60	—	54	—	791	84,996	情報技術
CHUBB LTD	25	—	30	—	330	35,464	金融
BIOGEN INC	—	—	15	—	457	49,182	ヘルスケア
INTUIT INC	14	—	7	—	167	17,979	情報技術
BEST BUY CO INC	125	—	33	—	199	21,376	一般消費財・サービス
BOSTON SCIENTIFIC CORP	56	—	—	—	—	—	ヘルスケア
ファンド合計	株数、金額	5,808.8	4,620.3	24,521	2,633,318		
	銘柄数<比率>	61銘柄	55銘柄		<95.9%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	2,633,318 千円	95.4 %
コール・ローン等、その他	127,776	4.6
投資信託財産総額	2,761,095	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.39円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,735,661千円)の投資信託財産総額(2,761,095千円)に対する比率は、99.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,761,095,517円</b>
コール・ローン等	93,680,172
株式(評価額)	2,633,318,588
未収入金	29,884,291
未収配当金	4,212,466
<b>(B) 負債</b>	<b>16,000,000</b>
未払解約金	16,000,000
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,745,095,517</b>
元本	2,387,574,659
次期繰越損益金	357,520,858
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,387,574,659口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	11,497円

\* 期首における元本額は2,774,637,912円、当作成期間中における追加設定元本額は37,537,052円、同解約元本額は424,600,305円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジあり)454,159,966円、ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジなし)1,933,414,693円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,497円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月19日 至 2020年3月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>34,156,026円</b>
受取配当金	34,150,544
受取利息	11,163
支払利息	△ 5,681
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 697,783,390</b>
売買益	281,505,946
売買損	△ 979,289,336
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 501,291</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 664,128,655</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,218,086,260</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 212,899,695</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>16,462,948</b>
<b>(H) 合計 (D + E + F + G)</b>	<b>357,520,858</b>
次期繰越損益金 (H)	357,520,858

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。